瑞宝中綬章を授けられる（各通）
岩崎　牧三
八木　浩輔（筑波大学名誉教授）

瑞宝小綬章を授けられる
柳田　司
岩城　春男　牛島　吉昭　加藤　昇
高田　幸夫　西村　敏男　三澤　法敏
米田　隆

瑞宝双光章を授けられる（各通）
荒木　末廣　安藤　實直
岡野　勝　笠島　慶一

瑞宝単光章を授けられる（各通）（以上五月十八日）
北田　英雄　三宅　悟郎

瑞宝小綬章を授けられる（各通）
花田　稔　南　弘人

瑞宝双光章を授けられる（各通）
伊藤　忠夫

瑞宝単光章を授けられる（以上五月十九日）
吉原　肇

瑞宝双光章を授けられる
中村　行雄

瑞宝単光章を授けられる（以上五月二十一日）

皇室事項

御祝詞

天皇陛下は、六月十二日英国女王陛下の御誕生日につき、同月十八日御祝電を発せられた。

官庁報告

国家試験

採用候補者名簿の有効期間の満了

人事院規則８―12―９（人事院規則８―12（職員の任免）の一部を改正する人事院規則）の規定による改正前の人事院規則８―12（職員の任免）第14条第１項の規定に基づき、下記に掲げる採用試験の結果に基づいて作成された採用候補者名簿の有効期間は、平成26年６月19日をもって満了した。

平成26年６月20日

人事院人材局企画課長　赤穂　敏広

記

平成23年度国家公務員採用Ｉ種試験

資　料

機械受注統計調査報告（平成26年４月）（実績）

内閣府経済社会総合研究所

（調査の概要）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

昭和62年４月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

平成23年４月調査より、日本標準産業分類の改定（平成19年11月）に準拠して、需要者分類を変更した。なお、公表については季節調整に必要なデータが蓄積されるまでの当分の間、従来の分類と接続可能な移行表章による。この間、新分類による計数は統計表のなかで参考表章する。また、機械分類の「通信機」に含まれていた「携帯電話」を調査対象から外した。

主要需要者別機械受注額

（単位：億円、％）

	平成25年４～６月	７～９月	10～12月	平成26年１～３月	平成26年１月	２　月	３　月	４　月
受注総額	62,232	65,886	65,764	68,594	23,082	22,313	23,198	31,260
	（　3.9）	（　5.9）	（－0.2）	（　4.3）	（　8.1）	（－3.3）	（　4.0）	（　34.8）
	〔　4.7〕	〔　21.4〕	〔　15.9〕	〔　10.8〕	〔　28.8〕	〔　20.0〕	〔－0.3〕	〔　53.6〕
民需	26,882	28,259	28,822	30,577	10,633	9,179	10,765	10,541
	（　5.8）	（　5.1）	（　2.0）	（　6.1）	（　17.7）	（－13.7）	（　17.3）	（－2.1）
	〔　2.5〕	〔　9.9〕	〔　14.0〕	〔　18.5〕	〔　32.6〕	〔　14.9〕	〔　14.5〕	〔　22.4〕
〃（船舶・電力を除く）	22,908	23,997	24,442	25,474	8,244	7,863	9,367	8,513
	（　6.4）	（　4.8）	（　1.9）	（　4.2）	（　8.1）	（－4.6）	（　19.1）	（－9.1）
	〔　6.4〕	〔　9.6〕	〔　13.3〕	〔　16.4〕	〔　23.6〕	〔　10.8〕	〔　16.1〕	〔　17.6〕
製造業	8,909	9,633	9,829	10,213	3,259	3,108	3,846	3,484
	（　5.5）	（　8.1）	（　2.0）	（　3.9）	（　4.9）	（－4.6）	（　23.7）	（－9.4）
	〔－4.2〕	〔　8.2〕	〔　14.8〕	〔　22.1〕	〔　24.0〕	〔　8.0〕	〔　29.5〕	〔　19.3〕
非製造業（船舶・電力を除く）	14,377	14,344	15,052	14,898	5,002	4,746	5,151	5,195
	（　10.6）	（－0.2）	（　4.9）	（－1.0）	（　6.1）	（－5.1）	（　8.5）	（　0.9）
	〔　14.1〕	〔　10.4〕	〔　12.4〕	〔　11.8〕	〔　23.1〕	〔　12.6〕	〔　6.6〕	〔　16.7〕
官公需	8,454	9,197	8,135	7,196	2,486	2,595	2,115	2,971
	（　18.1）	（　8.8）	（－11.5）	（－11.5）	（－7.6）	（　4.4）	（－18.5）	（　40.5）
	〔　7.4〕	〔　34.0〕	〔　14.4〕	〔－9.1〕	〔　13.5〕	〔　4.7〕	〔－17.6〕	〔　18.5〕
外需	24,402	27,009	25,814	27,499	8,933	9,136	9,429	16,148
	（　3.2）	（　10.7）	（－4.4）	（　6.5）	（　3.7）	（　2.3）	（　3.2）	（　71.3）
	〔　7.8〕	〔　34.7〕	〔　18.4〕	〔　12.8〕	〔　29.8〕	〔　31.9〕	〔－4.3〕	〔　101.7〕
代理店	2,678	2,884	3,076	2,833	1,063	994	776	987
	（－8.4）	（　7.7）	（　6.7）	（－7.9）	（　3.2）	（－6.5）	（－22.0）	（　27.3）
	〔－4.1〕	〔　4.6〕	〔　16.2〕	〔－6.3〕	〔　18.9〕	〔　9.3〕	〔－29.7〕	〔　24.4〕

（備考）１．季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。

２．四半期は合計額、（　）内は対前期（月）増減率、〔　〕内は原系列による対前年同期（月）増減率。

民需の業種別機械受注の伸び

（単位：％）

	平成25年４～６月	７～９月	10～12月	平成26年１～３月	平成26年１月	２　月	３　月	４　月
Ｉ製造業計	5.5	8.1	2.0	3.9	4.9	－4.6	23.7	－9.4
１食品製造業	2.0	7.1	0.9	1.1	53.6	－36.4	－2.3	4.4
２パルプ・紙・紙加工品	－51.4	190.1	－7.5	－52.5	－42.3	58.6	－26.6	－5.5
３化学工業	10.9	－11.4	22.3	－5.9	25.2	－26.4	15.0	34.3
４石油製品・石炭製品	－41.0	46.8	－35.3	－2.9	50.0	－45.4	20.7	－9.3
５鉄鋼業	0.8	13.3	－12.2	10.2	21.5	5.6	－22.1	42.8
６非鉄金属	－35.4	48.5	－21.8	52.4	77.3	－71.0	270.1	－25.8
７金属製品	－3.5	20.0	－1.1	－13.7	－2.0	－8.1	－8.9	29.4
８一般機械	6.8	3.5	10.0	－3.0	2.8	－9.1	－3.1	9.4
９電気機械	8.3	7.5	6.5	1.1	22.5	－3.5	8.8	－2.8
10情報通信機械	1.0	16.1	－9.9	12.5	－2.6	2.9	12.0	4.8
11自動車・同付属品	－0.1	－2.7	8.0	5.3	－10.0	13.4	9.0	－7.6